

酪農女性も知っておきたい 酪農経済トピックス

— 酪農所得・共済・乳価・海外乳業 —

仙北谷 康

帯広畜産大学

yasushi@obihiro.ac.jp

酪農経営の収益構造

(平成29年度、北海道調査経営の平均、単位：千円)

農業経営費	65,471
農業雇用労賃	1,990
動物	11,665
うち減価償却費	10,407
肥料	2,179
飼料	21,578
農業薬剤・医薬品	1,648
諸材料	1,743
光熱動力	2,923
農用自動車・農機具・農用建物	9,781
うち減価償却費	4,770
賃借料	5,309
物件税及び公課諸負担	2,648
農業雑支出	2,041
うち共済等の掛金・拠出金	1,987
ほか	1,966
農業所得	25,025

粗収益	90,496
(うち現金収入)	73,875
酪農収入	83,596
(うち現金収入)	66,984
うち生乳	59,022
農業雑収入	5,887
うち共済・補助金等受取	4,485
ほか	1,013
(勘定別内訳)	
在庫・動植物の増減額	16,583

この表で、「？」な、
ことは？

①生乳収入＜経営費？②所得？③借金返済？④共済金＝掛金×2？

①生乳収入<経営費？

個体販売など？

粗収益
9千万円

生乳生産はとても大事だが、それだけでは経営・生活が回らない。
生乳生産・個体販売のためには、繁殖管理がとても重要

ここが
とても
重要

うち
生乳販売
6,000万円

所得
2,500万円
(?)

費用
6,500万円

②所得が2,500万円？

現物支給
のような
もの

粗
収
益
9
千
万
円

在庫・動植
物の増減額
1,700万円

現金収入
7,300万円

在庫・動植
物の増減額
1,700万円

800万円？

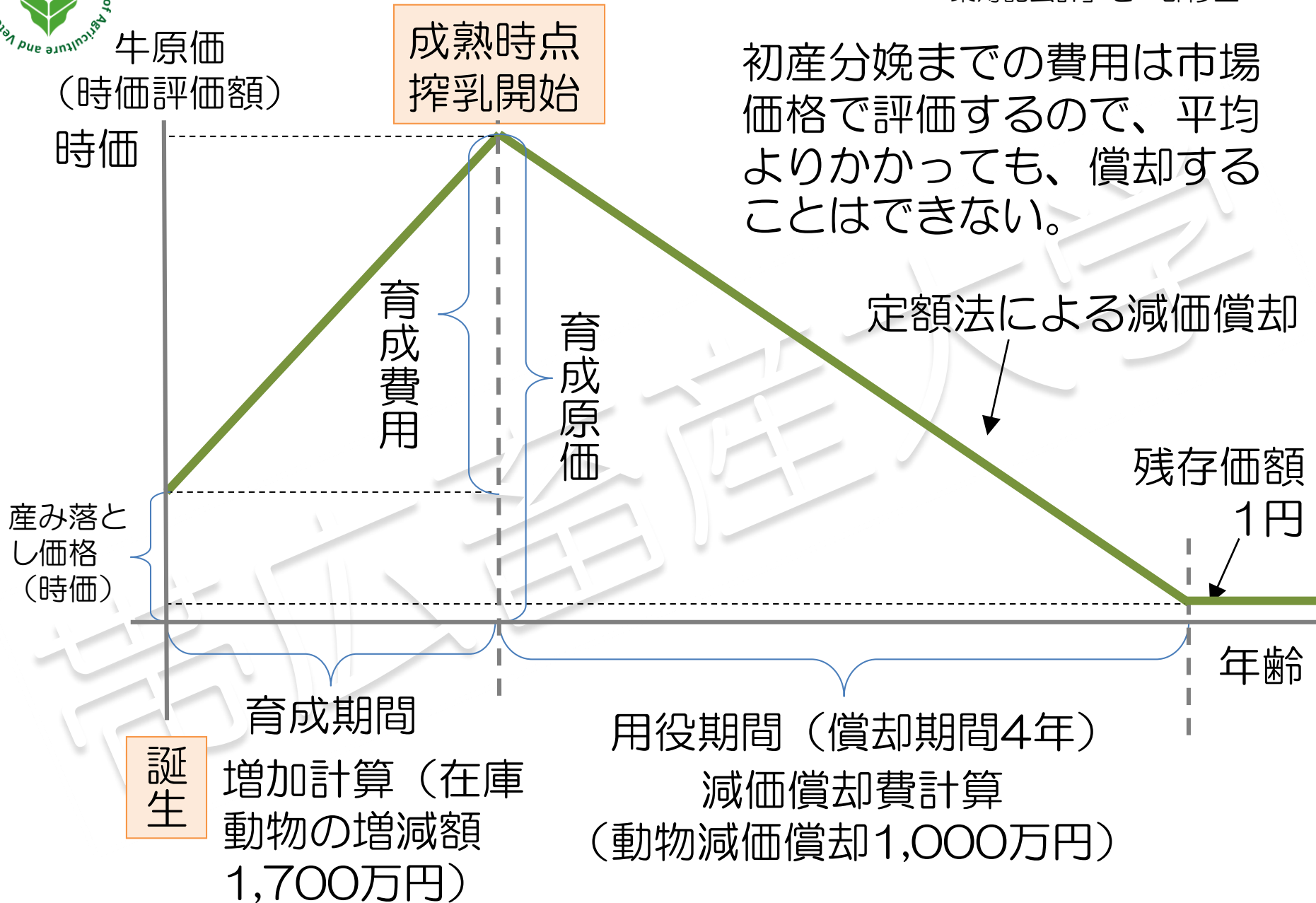
動物減価償却
1,000万円

費用
6,500万円

所得
2,500万円

自己育成資産の簿価

資料) 古塚・高田「現代農業簿記会計」を一部修正



動物減価償却費と所得、手元現金

粗収益 9千万円

在庫・動植物の増減額
1,700万円

個体販売800万円

雑収入500万円

うち
生乳販売
6,000万円

個体販売
とても大事

在庫・動植物の増減額
1,700万円

800万円

動物減価償却
1,000万円

機械減価償却
500万円

費用
6,500万円

所得
2,500万円

実際に手元
に残るお金
1,800万円

農業機械・施設投資の資金
返済に充てる
など。

ホルスタイン雌の月齢別の死亡頭数 (平成26年度)

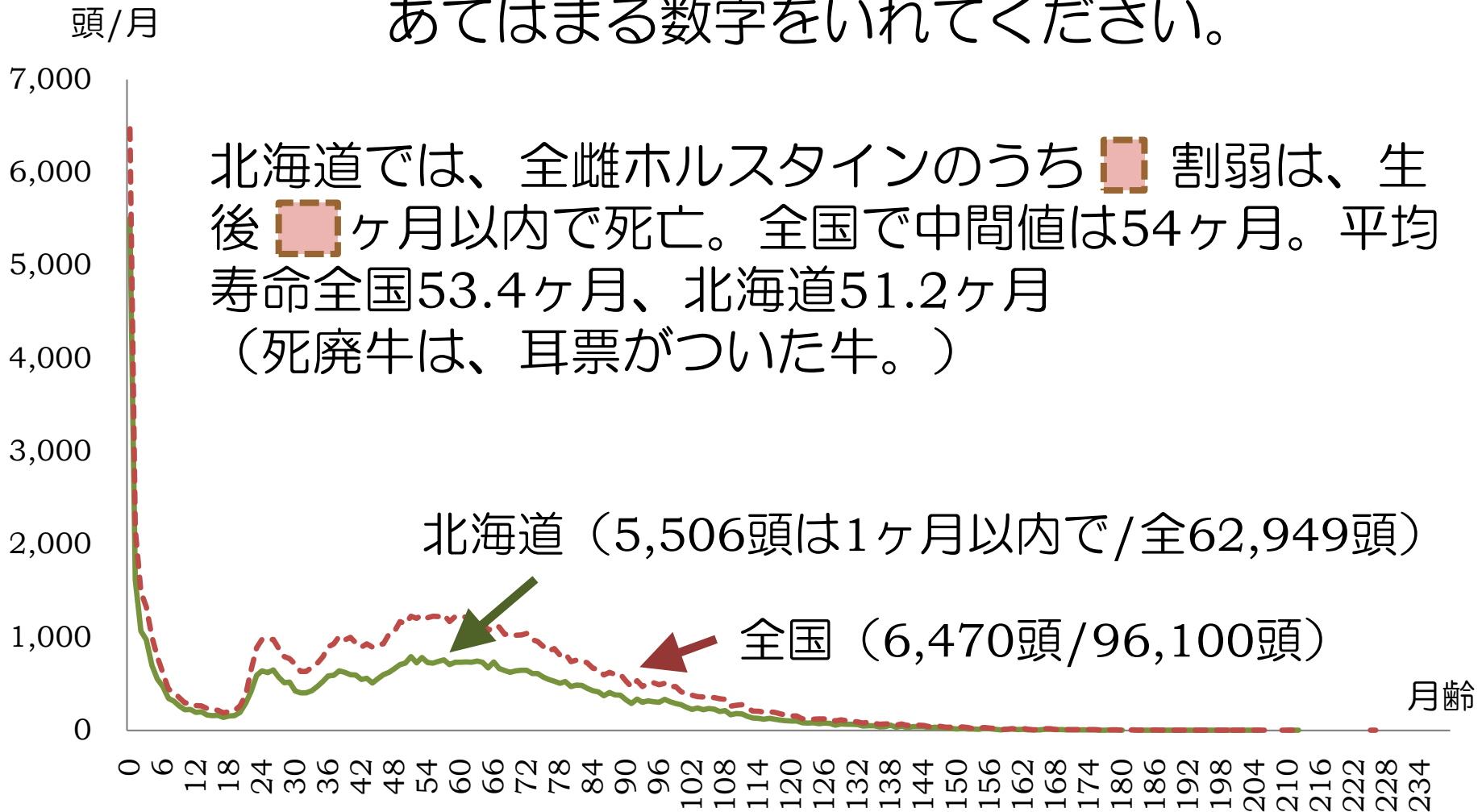
家畜改良センター

あてはまる数字をいれてください。

北海道では、全雌ホルスタインのうち 割弱は、生後 ヶ月以内で死亡。全国で中間値は54ヶ月。平均寿命全国53.4ヶ月、北海道51.2ヶ月
(死廃牛は、耳票がついた牛。)

北海道 (5,506頭は1ヶ月以内で/全62,949頭)

全国 (6,470頭/96,100頭)



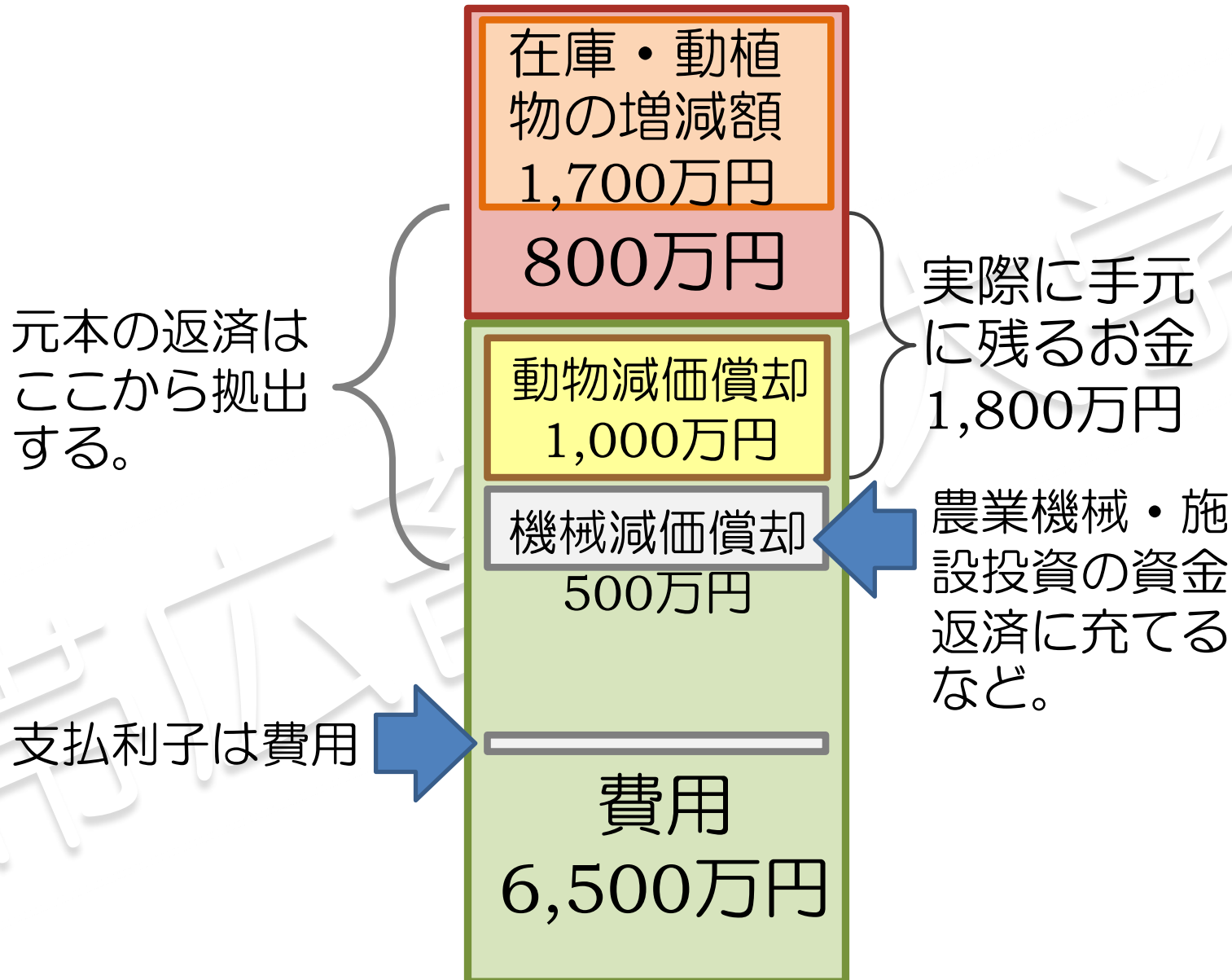
販売できるかもしれない個体は、まだある。

③借入金返済は？

借入金の元本支払は費用に なる/ならない

- レンタルショップから、スコップを借りて、レンタル料をつけて返す。
- 銀行から、資金を借りて、レンタル料にあたる（利息）をつけて返す。
- スコップを借りたり返したりすること自体は、収支そのものとは関係ない。
- 資金を借りたからといって所得が増えたことにはならない。資金を返しても費用が増えたことにはならない。

借入金返済の原資はどこから？



④家畜共済?

- 以前の家畜共済では、「牛が死んでも共済金はほとんど受け取らない」、という加入方法がありました（**1号除外**）。
- 平成31年1月から収入保険が始まり、**家畜共済は、死廃共済と病傷共済を分けて加入**し、死廃共済に加入しないことも可能です。
- 死廃共済で、乳牛の価額に対して支払われる共済金の割合は**付保割合**と呼ばれ、だいたい**2～8割**で、加入者が決めます。
- 皆さんの経営では、死廃共済に加入していますか？
- 付保割合はどれくらいですか？

いろいろなリスク（リスクマップ）

大きい



損失の
大きさ



小さい

①③ ⑥④	②
⑦	⑤

低い



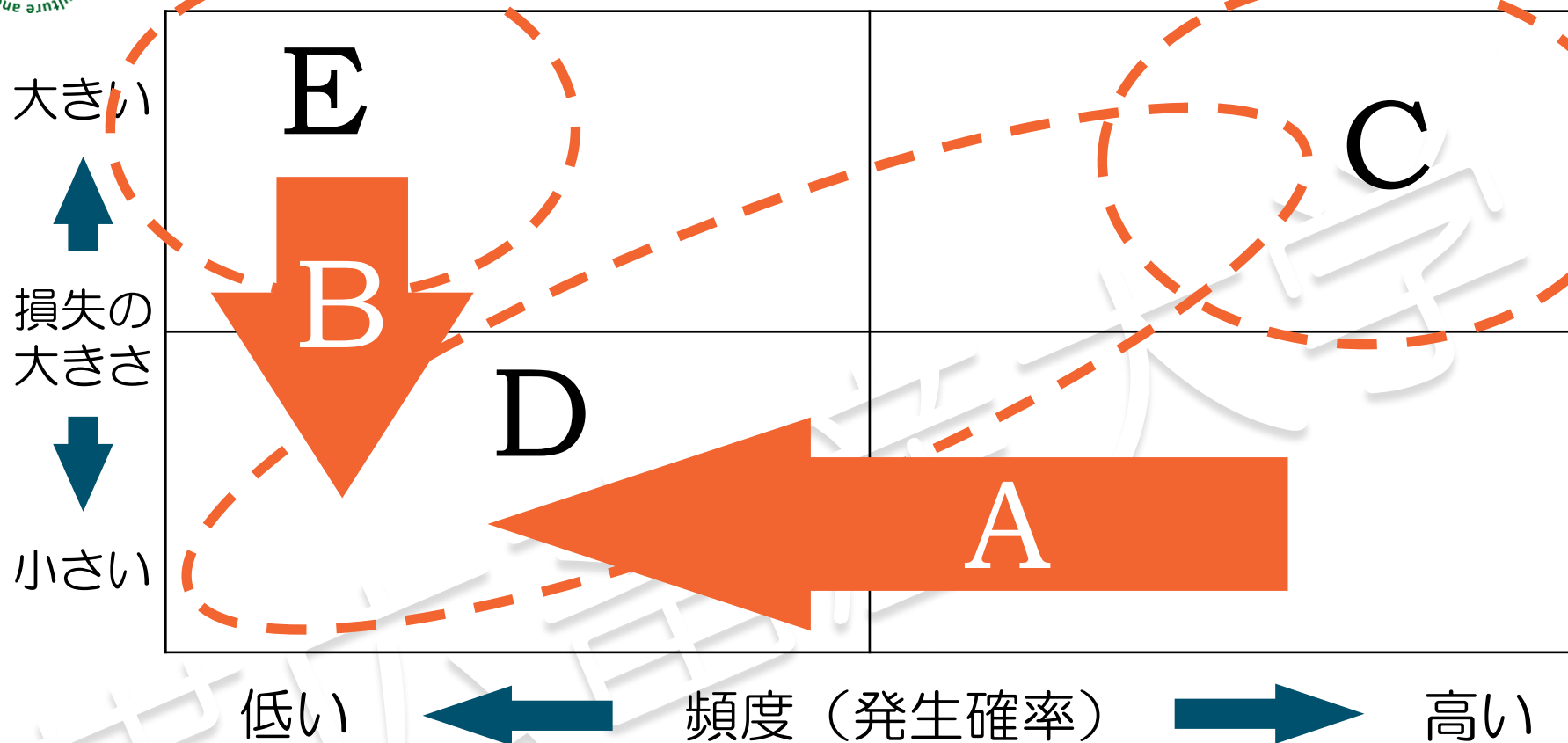
頻度（発生確率）



高い

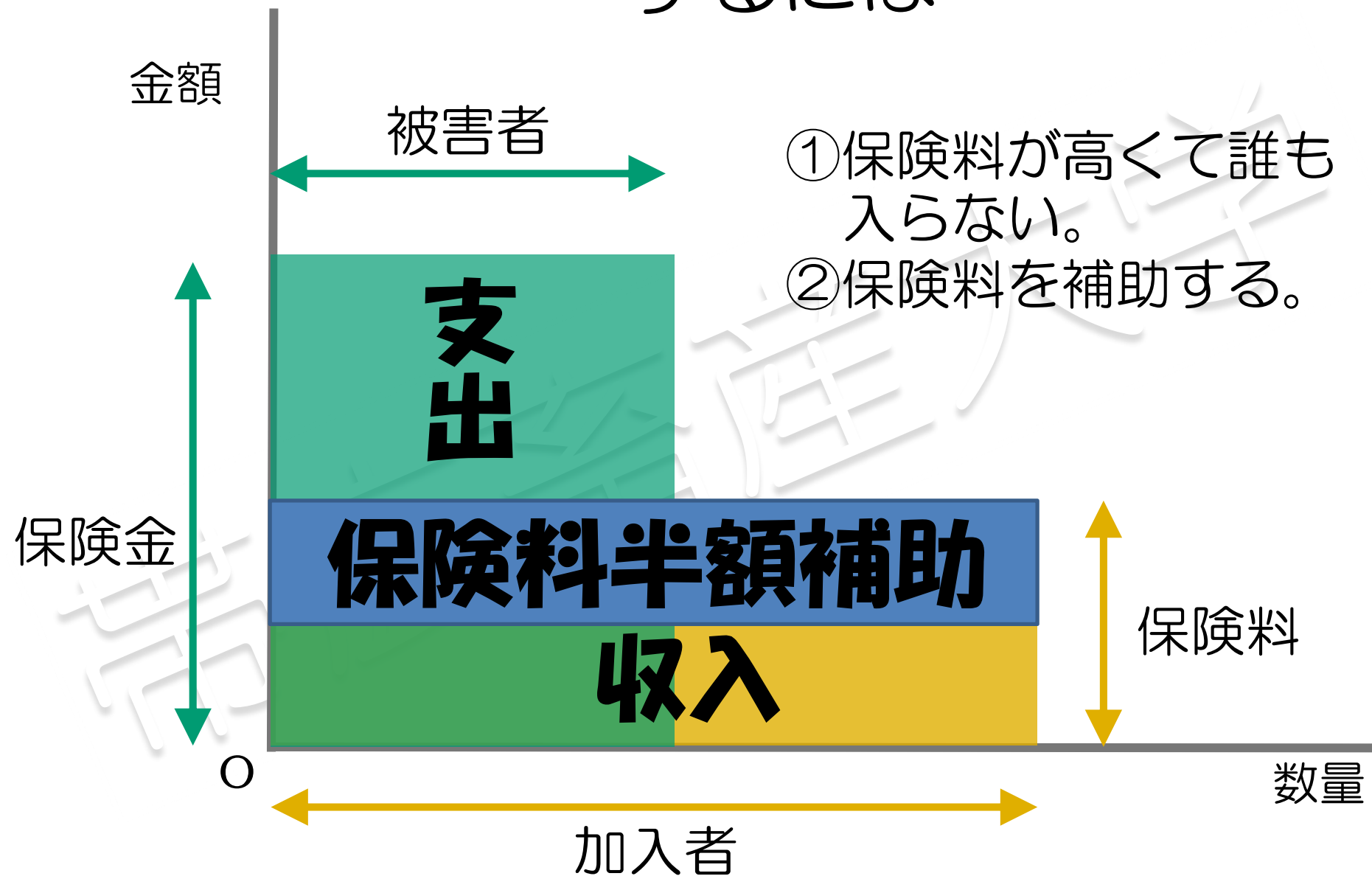
①車の人身事故、②戦争地域に行ったときに誘拐されること（戦争地域に行っている前提で）、③火事で自宅が全焼、④1頭だけ飼っている家畜が死亡すること、⑤300頭飼っている乳牛のうち1頭が死亡すること、⑥300頭飼っている乳牛が1週間で30頭、死亡すること、⑦ごくたまに机に膝をぶつけること

リスクマップとリスクマネジメント



A)損失予防、B)損失低減、C)回避、D)内部留保、E)保険
それぞれ、どのようなリスクに対するマネジメント手法として、適切でしょうか。

発生率が高いリスクを保険で対応するには



家畜共済

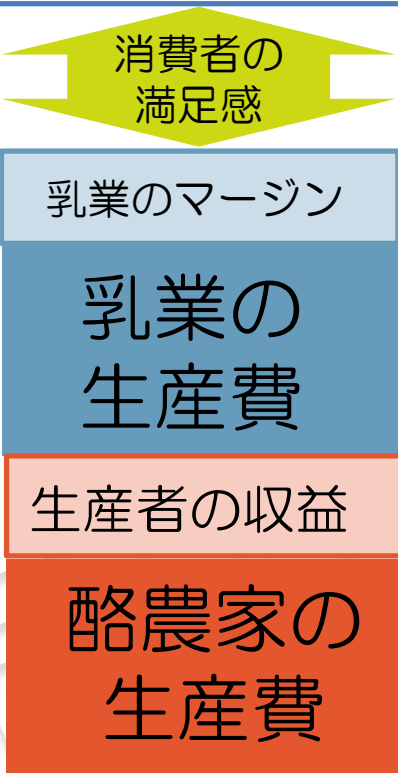
- とても重要な制度
- 死廃事故の共済金は、乳牛更新のために有効に使いましょう。
- 病傷事故が共済でカバーされるのは日本くらい（韓国やデンマーク、ベトナム、など、他の国にはありません）
- 収入保険との併用がどうなるかは不明です。

生産者と乳業、海外乳業

原料乳価の上昇で
消費者の満足感が
減少する。

高乳価は輸入
品参入の素地
になり得る

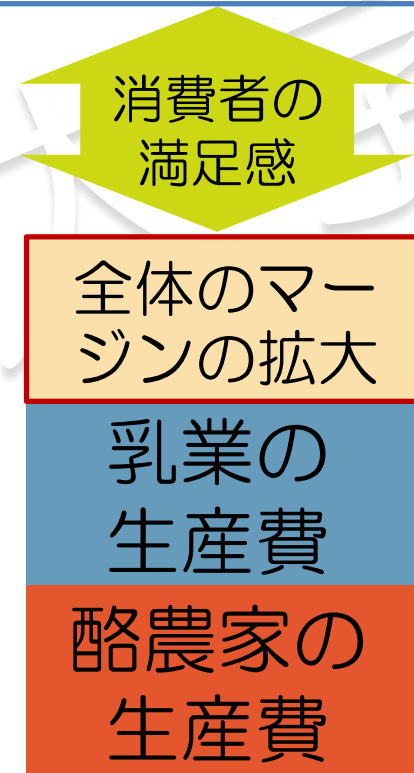
マージンをめぐる
対立的な理解をこ
えて連携を図る



生産者団体が乳業に
対して価格交渉力を
発揮し、高乳価を獲
得する。



海外乳業など、生
処一体型の乳業に
よる牛乳・乳製品
供給



生産者団体と乳業
が協力して生産費
を引き下げる

生産と処理の協力による
高付加価値製品の開発